

## 第8回 2017年1月18日(水)

第8回一流塾では、講師に一柳塾長と、一流塾特別顧問の齊藤惇氏（(株)KKR ジャパン会長、前(株)日本取引所グループ取締役兼代表執行役グループCEO）を、懇親会の特別ゲストには、関根近子氏（(株)資生堂顧問、イーサポートリンク(株)社外取締役、秋田大学非常勤理事、一流塾第7期生）をお迎えしました。また懇親会には、一流塾特別顧問の福川伸次氏（(一財)地球産業文化研究所顧問、東洋大学理事長、元通商産業事務次官）にもご出席頂きました。



【講師 一柳塾長】

第1部では、『元気と知恵の経営』と題して、一柳塾長が講義を行いました。冒頭、予測できない大きな変化がグローバルに起こる今の時代では、仮説を立てて物事を見ることが重要であることや、自由を主張するだけではなく義務を果たす公共心が大切であることをお話し頂きました。また、官僚を辞めてベンチャーを立ち上げた頃の修羅場体験のお話しを交えながら、ビジネスモデルが変わっても、「三方良し」の精神を大切にして持ち続けていることがビジネスの成功につながっていることをご紹介頂きました。中盤では、世界のパラダイムが変わり、工業社会（ハード）から知恵（ソフト/ソリューション）の社会に変化する中、知恵を使って付加価値を生み出すことや、成長マーケットを取り込むことの重要性を指摘されました。そのうえで、業界の境界を超えたハイブリッドの製品・サービスを生み出すことなど、これからの日本企業に求められるポイントをお話し頂きました。終盤には、良きリーダーの共通項として、強い思いや知恵と頑張りのお話し頂きました。そして最後に、「明るく、楽しく、面白く生きること」や、「成功の反対は失敗ではなく何もしないこと」の言葉と共に、一度きりの人生なので思い切ってチャレンジして欲しいと塾生を激励されました。塾生からは、「“三方良し”の精神で経営に取り組みたい」、「塾長のような魅力ある経営者になれるよう人間力を高めたい」といった声が上がりました。



【講師 齊藤特別顧問】

第2部では、『日本を復活させるには』と題して、齊藤氏が講義を行いました。先ず初めに、世界の主要株価の動向を示しながら、齊藤氏ならではの卓越した分析と共に、今年の経済の見通しをわかりやすくご紹介頂きました。中盤では、米国の成長を支えてきた真の要因や今後予想される動向、また中国やイスラムの抱える課題などを、端的かつ論理的にご説明頂きました。そのうえで、日本が立ち向かわなければならない経済・財政の課題や貧困などの社会問題、その解決策の核心的ポイントを膨大なデータと共にお話し頂きました。講義の最後には、ポートフォリオ経営が遅れている日本企業に警鐘を鳴らすとともに、経営体制を強化することで企業を強くするよう、激励とともに塾生にお伝え頂きました。塾生からは、「今こそ日本が世界のリーダーになれるチャンスだと大いに励まされた」、「ポートフォリオを見直し、生産性を上げることの重要性を改めて認識できたので、経営者として実践していきたい」といった声が寄せられました。

懇親会では、福川氏から乾杯のご挨拶を頂いた後、特別ゲストの関根氏が『仕事もプライベートも輝いて生きる～私を変えたプラス思考との出会い～』と題して、卓話を行いました。卓話では、関根氏の経験談を交えながら、プラス思考のメリットやプラス思考を身に着けるためのポイントをお話し頂きました。また、経営者が女性活用をポジティブに考えて女性にチャンスを与え、力を発揮する女性が現れると、それが企業に新しい価値を生み出すとお話し頂きました。塾生は、一流塾の先輩でもある関根氏の率直かつ芯の通った生き様に感銘していました。卓話後も各テーブルでは講師・ゲストと塾生との打ち解けた歓談が続きました。

懇親会後の塾生有志による塾長を囲む放談会では、政治家や官僚にもご出席頂きました。日本経済や政策課題に関するお話しに、塾生も問題意識を刺激され熱い議論で盛り上がり、塾長・ゲスト・塾生の交流が夜遅くまで続きました。



【特別ゲスト 関根氏】



懇親会風景



放談会風景